

クラス道徳

「僕の職場は富士山です」

題材の内容

富士山のガイドをしている筆者が、富士山のもつ不思議な魅力に引き込まれ、美しい富士山だけでなく、さまざまな富士山の姿についても知ってほしいと思うようになりました。筆者が最も大事にしていることは「体験して知ること」です。清掃活動では、どんなものが捨てられているか、実態を把握してもらうことから始めます。そして、ごみを捨てるだけでなく、「ごみを捨てない」意識を育てることが清掃活動の目的だと言います。そうすることで、次に登山をする機会には、自分からゴミ袋を用意するような意識が身につくのではないかと考えているのです。**富士山を今よりもっといい状態で未来の子供たちへ返していきたい**というのが筆者の願いです。

筆者のこの願いを
どう思いますか？



自然は神の芸術なり

(ダンテ)



**自然は美しさをみせる一方で、人間の力では
抗うことのできない猛威を振るうこともある。**

<みんなの感想>

- 自らゴミを捨てるっていうのは簡単なことではないと思う。「捨おう」と思っても捨えない（捨わない）ことの方が多い。だから私は「捨てない」ことを大事にしたい。みんなが捨てなければ、捨てる人もいない。捨てる人の気持ちはわからないけど、もっと「捨てにくい」世の中にしないとダメだなあと思う。(Jさん)
- 意識しないと守れない自然があることを知れた。自分は自然に対する意識もないことに気付いた。この先「見られなかったらいい」という考え方をなくしていかないといけないと思った。(Sくん)
- 私は富士山だけでなく、他の場所でも同じだと思いました。森でも、海でも普段暮らしている街の中でも、環境を大切にすることによって変わりは無いと思います。私もゴミが落ちていたら、すぐに拾いたかったです。(Oさん)
- 自分はおみをポイ捨てることをしたことがないけど、おみを捨てる人を見かけたら注意したり、筆者のような思いをもっている人がいると思うから、まずは、自分がおみをそこら辺に捨てること、当たり前のことをやっていきたい。(Kくん)
- 教室に落ちているゴミと富士山にあるゴミは一緒だと思います。ゴミがあると誰もうれしくないし、それを片付ける人に負担がかかってしまうと思いました。周りが見ていないからゴミを捨てるんじゃなくて、ゴミを落とさないという当たり前のことを意識していくことが大切だと思います。(Nさん)
- 自分も普通にポイ捨てることをしていたから、この話を読んで気をつけようと思った。きれいな富士山だと思っていたけどたくさんのゴミでこんなに汚くなるんだと思った。(Nさん)
- 今日の授業で、筆者は無理やりやらされてゴミを捨てるのは、その時しか捨たないけど自分から捨たないといけないということをみんなに伝えたいと思う。その時には富士山はきれいな誰もが認める世界遺産になっていると思う。(Yくん)
- 自分たちの住んでいる世界を自分たちで汚すようなことはしてはいけないと思った。自分のゴミはちゃんとしたところで処理しないといけないと思う。(Sくん)
- ただ活動とかをやるだけじゃなくて、気付いてどう変わるかが大切だと思った。やろうという気持ちがないのに参加するのは、いるだけと一緒に思うし、僕自身もどう変わるかを大切にしていきたい。(Kくん)
- この中学校も身の周りの自然もすべて過去の人たちの大切なものなのかなと思いました。それは私たちにとって、過去の人からの大切な贈り物と思いました。だから、この先も残していけるように、意味をもって生きたいです。(Hさん)
- いま、自分たちはポイ捨てるをしている人がいて、それをダメと感じない人が増えると、未来で私たちよりも困る人たちが多くなる。私たちの時代でポイ捨てるのゴミを捨おうと思いました。(Nさん)
- 部活とかでも、どこかの場所とか借りたら、「来た時よりも、美しく」でゴミとかは持ち帰って、きれいな状態で帰るし、自分のことだけじゃなくて、他の人とか動物とかのことを考えるのは大切だなと思いました。(Tさん)

今の自分たちが、

未来にどんなものを残すことができるだろう？